魅力あふれる「沖縄」
全国から年間2400校、41万人が来訪

沖縄の守り神シーサー（写真提供＝OCVB）

ハイビスカス（写真提供＝OCVB）

沖縄県は、日本の中でも独特な風土の中で育まれた歴史、文化などさまざまな魅力にあふれている。学校のニーズに応える「歴史」「文化」「自然・環境」「平和」など多くの分野で学習ができ、またリゾート地としての非日常体験も可能なことから、教育旅行実施地域としての総合力が高く評価され、毎年46都道府県、年間約2400校、41万人の学生が来訪している。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、修学旅行を延期や中止にする学校が相次ぐ中、1人でも多くの学生に安全、安心に沖縄修学旅行を体験してもらえるよう、新型コロナウイルス感染症対応フローや、よくある質問などを掲載した「沖縄修学旅行　防疫観光ガイドライン」（随時情報更新）の策定や、沖縄県内の修学旅行受け入れ施設が取り組んでいる感染防止対策を取りまとめた動画の公開を行っている。

ほかにも、修学旅行受け入れ施設ごとで定期的に感染防止対策にかかる意見交換会を実施し、すでに修学旅行を受け入れた施設からの課題抽出や改善策などについても情報共有を行っている。

併せて、専門家によるセミナーを開催し新型コロナウイルス感染症に対する知識を深めるなど、受け入れ対策の強化に努めている。

各催事については、例年全国各地で実施している沖縄修学旅行フェアや説明会など、全国的な感染状況を踏まえ今年度は一部を除きオンラインで開催し、沖縄県内の修学旅行受け入れ施設による生配信によるプレゼンテーションやZoomを使用した個別相談会を実施した。

「修学旅行は、学校生活の中でも参加する学生にとって最も強い印象として残る極めて価値のある教育的体験活動」と修学旅行の受け入れを担当する沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）。

また、「沖縄県では安全、安心かつ有意義な修学旅行の場を提供すべく、さらなる感染防止対策を図るなど、受け入れ対策の強化に努めるとともに、沖縄での修学旅行を検討している学校関係者や旅行会社などに向けて、その魅力や、学習効果を広く発信していく」と話す。

沖縄修学旅行に関する問い合わせは、OCVB本社（沖縄県那覇市）☎098（859）6125、もしくは、同・東京事務所（東京都千代田区）☎03（5220）5311まで。

東京スカイツリー
感染防止など「安心」提供

東京ミズマチ

今年の5月22日に、開業9周年を迎える東京スカイツリー（東京都墨田区）。運営会社の東武タワースカイツリーでは、新型コロナウイルス感染症の影響で学校生活における遠足や社会科見学、オリエンテーションなどの貴重な教育の場が失われている状況を社会的な課題と捉え、感染症防止策はもちろん、安心して楽しんでもらえるように昨年4月からさまざまな取り組みを行っている。

具体的には、①1都3県の小中学校を対象に、マイクロツーリズム向けの入場料金の設定②展望台内を少人数で分散しながらスカイツリーを学習し、併せて、隠れたキーワードを探す小学生向けプログラム「キーワードラリー」の実施③中高生向けの最先端技術を応用した体験型アトラクション「ガイドツアー　千葉工業大学東京スカイツリータウンキャンパス未来体験ツアー」の提供―がある。

昨年6月に誕生した東京スカイツリーと浅草を結ぶ新たなエリアの東京ミズマチは、とうきょうスカイツリー駅から浅草駅間の鉄道高架下を活用。公園や川の環境と一体化した開放的な複合商業施設となっている。

バスや電車での密集をさけながら、ゆったりと楽しめる。

4月1日から営業時間変更
東京スカイツリー

東武タワースカイツリーが運営する東京スカイツリー（東京都墨田区）はこのほど、4月1日から営業時間が変更になると発表した。展望台の営業時間は、午前10時から午後9時。最終入場は午後8時までとなる。

問い合わせ先は、東京スカイツリー団体予約センター☎03（3626）0634。受付時間は、午前10時から午後6時（土曜、日曜、祝日、年末年始除く）まで。もしくは、東京スカイツリー公式ホームページ（https://www.tokyo-skytree.jp/）。

手指消毒剤
液が飛び散らない
ライオンハイジーン

ライオンのグループ会社、ライオンハイジーン（東京都墨田区）が今年から販売を開始した、業務用の手指消毒剤「手指消毒速乾ジェル」。消費者からの「液が飛び散らない消毒液が欲しい」という要望に応えた。ジェルなのにべたつかない、さらっとした使用感が最大の特徴で、好評だ。

有効成分は、ばい菌に消毒効果を発揮するエタノールで、日本薬局方が定める高濃度の有効成分を配合。使いやすい低粘度ジェルのため、のびが良く、手指のすみずみまで素早く広がる。湿潤剤が入っているので、ツッパリ感が少なく、手にやさしい使い心地も特徴。無香料なので、どんな場面でも使いやすい。

「誤つめかえ」の心配がないよう、あえて使い切りとした。液を補充する必要がないので、中身を間違える心配がなく、安心して使えるという。

据え置き型の500ミリリットル入りと、携帯用の100ミリリットル入りの2種を用意した。

500ミリリットル入りは、使用量が多い、不特定多数の人が利用するシーンを想定。学校では各教室内、体育館などの出入り口や、保健室、給食室などの常用を薦めている。

100ミリリットル入りは、「外での授業や課外活動、部活動などに、先生方が携帯するなどして生徒の手指消毒をフォローしてほしい」とライオンハイジーン。

この件についての問い合わせ先は、ライオンハイジーン（大代表）☎03（5819）7770。

手指消毒速乾ジェルの500ミリリットル入り（左）と100ミリリットル入り

錯覚を体験、学び発想力を養う
トリックアート美術館

日本発祥の参加・体験型アート「トリックアート」。平面の絵が飛び出したり、角度により違う雰囲気の絵に見えたりする不思議なアートだ。栃木・那須高原と東京・お台場にあるトリックアートの常設館は、これらの作品を見るだけでなく、写真に撮ったり、錯覚を感じたりとさまざまな体験ができる。思い出づくりとともに、芸術性を学び、発想力を養える体験・見学地と、中学や高校の修学旅行で人気を集めている。

ＡＲ対応のトリックアート「ドラキュラのおやつ」

那須とりっくあーとぴあ
「制作体験」新たに用意

「那須とりっくあーとぴあ」は、国内最大のトリックアートのテーマパークだ。「トリックアートの館」「トリックアート迷宮?館」「ミケランジェロ館」の三つの施設で構成。さらに敷地内の体験館「那須ホワイトスタジオ」では、アートの制作体験ができるプログラムを新たに用意した。

皿、風鈴、仮面、人形などの絵付けに加え、くぼんだ部分が錯覚で出っ張って見える「ホロウマスク」や、下地作りから磨工程などの体験できる、より芸術性の高い体験も用意していく。

併設している制作工房ではアーティストが新作を制作しており、来訪者に敷地内3カ所の美術館巡りも楽しみたい。

トリックアートの館は、建物の構造自体も工夫が凝らされたアートの展示館。昨年リニューアルし、展示がさらに充実した。足を奪われそうになる「歪む床」や、森の中にいるような錯覚にとらわれる「動物の森」など、内装のほぼ全てがトリックアートになっている。

トリックアート迷宮?館は、魔法の世界をトリックアートで再現した立つ位置により体験者2人の体の大きさが変わる「エイムズの部屋」が有名だ。

ミケランジェロ館は、イタリアルネサンスの三大巨匠の名作を、トリックアートで再現。「最後の晩餐」や「アテネの学堂」「システィーナ礼拝堂」が見る人を圧倒する。アートの歴史を体感しながら学んでほしい。

▽栃木県那須郡那須町高久甲5760。☎0287（62）8388。不定休で、午前9時半から午後6時まで営業（8月は午前9時から、10～3月は午後5時まで）。入場料3館共通大人2800円、中学生以下1900円。

足を奪われそうになる「歪む床」

「東京トリックアート迷宮館」は、江戸をテーマにした和風のトリックアートをはじめ、多くの人気作品を展示する体験型の美術館だ。都内屈指の人気エリアお台場の複合施設に展開。コロナ禍の中、館内や隣接の商業施設は感染防止対策を徹底するほか、海浜公園を見渡す開放的なデッキがあり、密を回避できる。

開放感あるお台場に展開
東京トリックアート迷宮館

「東京トリックアート迷宮館」は、国宝・鳥獣人物画に描かれたカエルやウサギが立体的に跳び出す様子を表現。鑑賞者は驚いて捕まえようとしたり、一緒に走り出したりするなど、現実と絵が一体になったユニークな写真が撮れる。

次の「愉快な忍者とお化けエリア」では、忍者やお化けのトリックアートが来場者を出迎える。隠し扉などさまざまなトリックも仕掛けられていて楽しい。

隠し扉を抜けた先は「トリックアート名作ギャラリー」。過去の名作から最新作まで、多くの作品を展示している。

スマートフォンの画面をかざすと静止画のアートが画面の中で動き出す「AR（拡張現実）」対応のトリックアートも展示。利用には無料アプリのダウンロードが必要だが、スマートフォンを持たない生徒らにはスタッフが端末を使い、体験をサポートする。

▽東京都港区台場1の6の1、デックス東京ビーチシーサイドモール4階。☎03（3599）5191。不定休で、午前11時から午後9時まで営業。入場料大人千円、中学生以下700円。

高校の修学旅行　重点を置いた活動は「歴史学習」
日本修学旅行協会　発行「教育旅行年報」から

日本修学旅行協会は、中学校、高等学校の修学旅行に関する動向を毎年調査し、その結果を教育旅行年報「データブック」として発行している。ここでは、昨年12月1日に発売された旅行年報「データブック2020」の「国内修学旅行の実態とまとめ（高等学校）」から「旅行先」と「重点を置いた活動」のデータを紹介する。

今回の調査は2019年度に実施された修学旅行に関するもので、全国の高等学校4887校から3112校を抽出し（抽出率63・7％）アンケート調査。回答は1149校（回答率36・9％）からあり、その内訳は国立4校、公立709校、私立436校である。

●旅行先について

旅行先の多い都道府県を20位まで表したのが表1である。カウント方法は、滞在時間に関係なく、例えば滞在が半日であっても、2日であっても、初日と3日目であっても行った旅行先を「1」としている。

旅行先のトップは前々回、前回に引き続き沖縄県で、2位大阪府、3位京都府、4位東京都、5位奈良県の順である。8位までの旅行先は3年間変動がないが、今回は大阪（2位）と東京（3位）、奈良（5位）と千葉（6位）の順序が入れ替わった。旅行先に選ばれる要因としては、沖縄県は平和学習やマリンスポーツ体験など、東京都は首都の観光・学習、京都府、奈良県は寺社などの歴史学習、大阪府、千葉県は人気のテーマパーク、北海道は自然体験の豊富な素材などが主な要因であろうか。震災の影響があった熊本県は16件で18位である。同じく震災の復興が進む東北各県へは、福島県が12件、宮城県4件、岩手県3件、山形県2件、計21件で、前回（20件）よりわずかに増加している。今後も震災学習を含めた東北地方や熊本県への修学旅行が積極的に検討、実施されることを期待したい。

●重点を置いた活動

修学旅行で重点を置いた学習や体験を分類した分類別件数・比率を見ると、「歴史学習」が622件（28・6％）で最も多く、次いで「平和学習」が344件（15・7％）、「スポーツ体験」が291件（13・3％）で、この3分野で全体の57・6％となっている。

重点を置いた学習や体験の具体的な活動内容を三つまであげてもらったものが表2である。1位「遺跡、史跡、文化財、寺社などの見学」と2位「平和学習」が3年間変わらず、4位「スキー、スノーボード」、5位「伝統的町並み見学」が毎回上位にきている。かつて重点を置いた活動であった「博物館などの見学」が、ここ数年で大きく順位が下がっていたが、今回3位と順位を上げた。

進路やキャリア教育としての「職場訪問・職場体験」は6位、「自然や野外活動」と「マリンスポーツ」が7位、民泊などによる「いなか暮らし体験」が9位、「伝統文化・伝統芸能や祭り体験」が10位で順位が変動している。「防災・震災学習」は昨年と同じく15位。

活動内容は多岐にわたっており、各学校が実態に応じてさまざまな学習や体験に重点を置いていることがうかがわれる。

表－1　旅行先上位20（都道府県別）　（単位：件・％）

順位 前々回	順位 前回	順位 今回	旅行先	件数	構成比
1	1	1	沖縄	250	11.5
4	4	2	大阪	207	9.6
3	3	3	京都	205	9.5
2	2	4	東京	202	9.3
6	6	5	奈良	138	6.4
5	5	6	千葉	122	5.6
7	7	7	北海道	113	5.2
8	8	8	兵庫	76	3.5
9	10	8	長崎	76	3.5
11	11	10	福岡	70	3.2
10	9	11	広島	67	3.1
12	11	12	神奈川	54	2.5
13	13	13	長野	45	2.1
14	15	14	佐賀	22	1.0
15	14	15	新潟	19	0.9
21	18	16	群馬	18	0.8
18	17	16	鹿児島	18	0.8
23	23	18	香川	16	0.7
16	16	18	熊本	16	0.7
22	21	20	岡山	13	0.6

※総件数は1,858件
※滞在時間に関係なく訪問した都道府県をカウントした。
（旅行中、複数回滞在してもカウントは1とした）

表－2　重点を置いた活動の回答件数・実施率　（単位：件・％）

順位 前々回	順位 前回	順位 今回	活動内容	国立	公立	私立	全体	実施率
1	1	1	遺跡、史跡、文化財、寺社などの見学		260	121	381	43.1
2	2	2	平和学習	2	222	120	344	38.9
13	12	3	博物館などの見学		106	72	178	20.1
3	3	4	スキー（スノーボード、スノーシューなど含む）		96	31	127	14.4
5	4	5	伝統的町並みや建造物群保存地区の見学		86	40	126	14.3
7	8	6	職場訪問、職場体験	1	100	20	121	13.7
4	5	7	自然や野外活動体験（無人島体験、洞窟体験など含む）	2	65	41	108	12.2
6	6	7	マリンスポーツ（ダイビング、シュノーケリングなどを含む）		72	36	108	12.2
8	7	9	いなか暮らし体験	1	56	22	79	8.9
9	8	10	伝統文化、伝統芸能や祭り体験（香道、舞妓、着付け、三味線、ペーロン、エイサーなど含む）	1	43	25	69	7.8
11	16	11	その他のスポーツ（ラフティング、カヌー、熱気球、トレッキング、乗馬など含む）	1	33	22	56	6.3
15	13	12	ミュージカル、演劇などの鑑賞	1	40	13	54	6.1
10	14	13	産業や産業遺産の見学		39	12	51	5.8
12	10	14	学校見学（大学、専門学校など）	1	36	11	48	5.4
18	19	15	宗教体験（座禅、法話、写経など）		36	9	45	5.1
16	15	15	防災・震災学習		30	15	45	5.1
14	11	17	環境学習体験		16	16	32	3.6
19	18	18	農業	1	18	7	26	2.9
17	17	19	伝統工芸等ものづくり体験		16	9	25	2.8
22	23	20	料理・食品加工体験		14	4	18	2.0
21	20	20	国際交流（外国人、留学生との交流）		8	10	18	2.0
23	22	22	美術館などの見学		7	6	13	1.5
20	21	23	歌舞伎、文楽、能楽などの鑑賞		7	4	11	1.2
24	25	24	漁業（釣り含む）		9	1	10	1.1
24	24	25	販売・商業体験		4		4	0.5
27	26	26	酪農			3	3	0.3
28	27	27	コンサート、音楽の鑑賞		2		2	0.2
26	28	28	ボランティア体験（具体的内容）		1		1	0.1
28	28	29	林業				0	0.0
―	28	29	介護福祉体験				0	0.0
			その他		63	24	87	9.8
			合計	11	1,485	694	2,190	

※複数回答可（ただし上位三つまで）
※その他には「班別自主研修」や「調査研究」「学校交流」「社会体験」などが含まれる